

# 財務諸表

## (1)貸借対照表

(単位：百万円)

	平成9年度	平成8年度	平成7年度	平成6年度	平成5年度
(資産の部)					
現金預け金	2,749,927	4,320,845	5,578,972	7,195,842	8,809,112
現金	806,865	1,146,696	1,318,679	1,521,276	1,866,228
預け金	1,943,061	3,174,148	4,260,293	5,674,566	6,942,884
コールローン	235,542	588,794	537,133	423,744	241,005
買入手形	30,000	429,300	312,900	3,000	
買入金銭債権	29,858	55,897	82,047	259,990	173,178
特定取引資産	2,273,891				
商品有価証券	85,898				
特定取引有価証券派生商品	0				
金融派生商品	1,445,818				
その他の特定取引資産	742,174				
商品有価証券		64,899	395,879	279,594	369,994
商品国債		64,643	395,520	278,191	369,322
商品地方債		256	358	1,402	598
商品政府保証債				1	73
金銭の信託	85,432	117,271	148,150	170,959	181,271
有価証券	6,250,780	5,774,496	5,799,177	6,083,718	5,746,355
国債	1,087,908	1,050,618	1,021,158	1,031,695	717,528
地方債	368,933	235,094	287,095	383,095	633,447
社債	481,068	411,374	512,670	912,916	1,071,478
株式	3,474,678	3,292,037	3,184,398	2,969,057	2,545,259
自己株式	11	4	7	1	11
その他の証券	835,880	781,186	760,833	753,358	741,040
貸付有価証券	2,299	4,180	33,013	33,593	37,590
貸出金	32,030,589	34,037,300	32,376,153	30,967,589	31,611,026
割引手形	723,771	819,042	979,957	961,387	1,016,788
手形貸付	4,358,183	5,060,236	5,080,104	5,297,009	5,390,426
証書貸付	21,601,105	24,260,306	22,642,967	20,629,859	21,175,315
当座貸越	5,347,528	3,897,715	3,673,123	4,079,332	4,028,496
外国為替	549,415	524,653	448,039	366,304	397,828
外国他店預け	49,060	60,954	23,490	32,835	14,157
外国他店貸	101,715	62,671	65,516	29,674	20,705
買入外国為替	319,595	316,798	283,218	237,046	297,856
取立外国為替	79,043	84,229	75,813	66,748	65,110
その他資産	2,263,624	1,759,101	1,498,375	1,340,758	1,208,553
未決済為替貸	3,620	4,172	8,985	3,440	3,620
前払費用	5,083	11,062	5,064	6,407	9,985
未収収益	1,074,605	1,017,375	927,041	752,027	650,387
先物取引差入証拠金	1,024	543	465	86	719
先物取引差金勘定	885	366		10,297	1,760
保管有価証券等	656,570	327,916	254,608	215,199	210,249
その他の資産	521,835	397,663	302,210	353,298	331,831
動産不動産	673,037	342,876	333,277	317,927	310,021
土地建物動産	584,746	268,816	230,044	241,773	226,411
建設仮払金	12,494	2,902	34,435	14,401	20,039
保証金権利金	75,796	71,158	68,797	61,752	63,570
支払承諾見返	3,915,992	4,051,392	3,441,898	3,320,716	3,400,210
資産の部合計	51,088,094	52,066,828	50,952,005	50,730,147	52,448,559

	平成9年度	平成8年度	平成7年度	平成6年度	平成5年度
(負債の部)					
<b>預金</b>	31,316,743	34,394,656	34,191,309	34,821,889	36,337,628
当座預金	1,453,144	1,934,784	2,039,680	1,848,651	2,167,933
普通預金	4,831,476	4,243,152	4,082,612	3,515,417	3,453,057
貯蓄預金	829,119	701,230	546,434	181,182	107,817
通知預金	1,081,040	1,015,450	998,040	908,661	970,047
定期預金	19,479,597	23,001,111	23,143,195	25,408,011	25,220,726
定期積金					0
その他の預金	3,642,364	3,498,926	3,381,346	2,959,964	4,418,046
<b>譲渡性預金</b>	3,125,963	3,884,485	2,773,787	1,977,727	2,219,036
<b>コールマネー</b>	2,035,728	2,552,678	3,408,018	3,802,772	3,648,177
<b>売渡手形</b>	220,859	391,272	669,477	641,044	769,423
<b>特定取引負債</b>	1,458,546				
売付商品債券	34,580				
商品有価証券派生商品	16				
金融派生商品	1,423,950				
<b>借入金</b>	3,339,624	2,442,739	2,799,591	2,493,618	2,485,803
再割引手形	7,687	10,396	9,118	9,562	11,240
借入金	3,331,936	2,432,342	2,790,473	2,484,056	2,474,562
<b>外国為替</b>	125,762	96,415	83,961	59,992	84,376
外国他店預り	97,243	65,492	59,979	36,308	36,776
外国他店借	17,426	14,661	11,261	11,356	22,087
売渡外国為替	2,273	8,168	3,028	1,849	3,262
未払外国為替	8,819	8,092	9,690	10,477	22,249
<b>社債</b>	100,000				
<b>転換社債</b>	12,582	12,582	13,009	13,231	31,720
<b>その他負債</b>	2,888,177	1,476,390	1,129,090	958,244	1,038,121
未決済為替借	3,296	3,890	8,563	2,745	2,931
未払法人税等	1,472	799	786	1,702	2,479
未払費用	933,680	784,719	691,244	597,521	622,242
前受収益	25,586	27,861	24,828	45,118	50,890
従業員預り金	46,038	45,415	44,104	39,828	34,120
先物取引受入証拠金	4,603	5,707	7,613	3,623	37,868
先物取引差金勘定	180	607	561		975
借入商品債券	222,300	98,800	50,000	12,500	78,000
借入有価証券	430,569	225,608	200,124	200,000	100,000
売付商品債券		41,716	31,127	13,759	74,332
債券貸付取引担保金	689,469				
その他の負債	530,979	241,264	70,137	41,445	34,280
<b>貸倒引当金</b>	857,491	983,607	943,132	691,420	496,665
<b>退職給与引当金</b>	48,241	48,816	48,587	48,257	47,996
<b>世界都市博覧会出展引当金</b>				281	
<b>債権売却損失引当金</b>	52,717	38,834			
<b>特定債務者支援引当金</b>	122,300				
<b>特別法上の引当金</b>	47	20,892	20,767	20,135	18,925
国債価格変動引当金		7,492	7,480	7,480	6,992
商品有価証券売買損失等引当金		13,362	13,261	12,639	11,920
金融先物取引責任準備金	47	31	16	6	4
証券取引責任準備金		5	8	8	8
<b>支払承諾</b>	3,915,992	4,051,392	3,441,898	3,320,716	3,400,210
<b>再評価差額金</b>	326,529				
<b>負債の部合計</b>	49,947,308	50,394,764	49,522,632	48,849,333	50,578,085
(資本の部)					
<b>資本金</b>	529,087	529,087	423,873	423,762	423,316
<b>資本準備金</b>	419,954	419,954	314,740	314,629	314,184
<b>利益準備金</b>	89,216	86,616	82,253	77,869	72,807
<b>その他の剰余金</b>	102,527	636,407	608,506	1,064,551	1,060,164
任意積立金	589,921	580,926	1,015,934	1,015,962	1,015,986
海外投資等損失準備金	21	26	34	62	86
行員退職手当基金	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500
別途積立金	588,400	579,400	1,014,400	1,014,400	1,014,400
当期末処分利益金	487,393	55,480	407,427	48,588	44,178
(は当期末処理損失)					
<b>資本の部合計</b>	1,140,785	1,672,064	1,429,373	1,880,813	1,870,473
<b>負債および資本の部合計</b>	51,088,094	52,066,828	50,952,005	50,730,147	52,448,559

## (2) 損益計算書

(単位：百万円)

	平成9年度	平成8年度	平成7年度	平成6年度	平成5年度
<b>経常収益</b>	2,538,739	2,620,696	2,991,868	2,870,857	2,579,456
資金運用収益	2,008,606	2,121,928	2,478,146	2,225,874	2,335,049
貸出金利息	995,571	977,440	1,081,018	1,210,549	1,391,950
有価証券利息配当金	152,901	125,479	148,517	172,001	191,532
コールローン利息	15,303	18,325	22,427	17,752	13,593
買入手形利息	304	97	390	494	
預け金利息	149,164	153,754	268,249	272,152	213,309
金利スワップ受入利息	621,978	679,489	754,402	412,134	405,974
その他の受入利息	73,382	167,341	203,141	140,789	118,689
役務取引等収益	109,787	107,584	109,695	102,896	97,155
受入為替手数料	49,047	46,507	44,274	42,251	39,384
その他の役務収益	60,740	61,077	65,420	60,644	57,770
特定取引収益	19,060				
商品有価証券収益	99				
金融派生商品収益	16,216				
その他の特定取引収益	2,745				
その他業務収益	126,928	92,535	185,523	96,452	130,626
外国為替売買益	17,625	6,637		24,425	23,138
商品有価証券売買益		1,013	6,219	7,184	12,397
国債等債券売却益	105,130	82,779	178,389	64,016	94,368
国債等債券償還益	3,818	1,705	803	703	576
その他の業務収益	353	400	110	122	146
その他経常収益	274,356	298,648	218,503	445,634	16,624
株式等売却益	268,654	291,333	208,114	439,988	4,977
金銭の信託運用益	904	485	7,249	3,065	7,308
その他の経常収益	4,797	6,829	3,139	2,579	4,338
<b>経常費用</b>	3,115,046	2,589,444	3,491,957	2,832,743	2,526,832
資金調達費用	1,505,595	1,522,447	1,817,996	1,673,599	1,760,009
預金利息	616,068	617,035	787,951	914,494	971,215
譲渡性預金利息	72,549	62,315	65,864	57,707	78,308
コールマネー利息	29,998	29,671	53,531	100,273	140,608
売渡手形利息	12,092	13,103	18,060	22,253	24,662
借入金利息	68,900	56,106	60,493	79,607	74,218
社債利息	5				
転換社債利息	191	178	162	364	610
金利スワップ支払利息	648,135	647,457	673,461	397,957	384,159
その他の支払利息	57,653	96,580	158,470	100,939	86,224
役務取引等費用	44,776	42,941	43,396	45,107	46,346
支払為替手数料	13,586	12,456	12,135	11,320	10,403
その他の役務費用	31,189	30,485	31,261	33,787	35,942
特定取引費用	517				
特定取引有価証券費用	517				
その他業務費用	44,614	55,296	84,619	55,515	41,591
外国為替売買損			8,084		
国債等債券売却損	28,347	45,867	70,600	49,714	31,396
国債等債券償還損	2,671	2,228	3,266	1,856	8,236
国債等債券償却	112	154		1,039	0
その他の業務費用	13,482	7,046	2,668	2,904	1,957
営業経費	385,780	380,434	368,755	374,955	363,946
その他経常費用	1,133,761	588,323	1,177,189	683,564	314,939
貸倒引当金繰入金	303,556	140,923	288,916	240,780	78,862
貸出金償却	68,966	25,767	28,409	67,066	16,014
債権売却損失引当金繰入額	24,017	38,834			
特定債務者支援引当金繰入額	122,300				
株式等売却損	2,120	223	100	466	875
株式等償却	56,999	191,036	4,808	85,057	29,086
金銭の信託運用損	1,817	3,234	2,762	10,654	287
事業税	86			236	1,125
その他の経常費用	553,896	188,303	852,191	279,302	188,688
<b>経常利益（は経常損失）</b>	576,306	31,252	500,089	38,114	52,623

	平成9年度	平成8年度	平成7年度	平成6年度	平成5年度
<b>特別利益</b>	66,550	33,211	76,529	3,371	4,757
動産不動産処分益	45,617	33,160	76,387	3,356	4,699
償却債権取立益	70	48	142	14	58
国債価格変動引当金取崩額	7,492				
商品有価証券売買損失等引当金取崩額	13,362				
証券取引責任準備金取崩額	5	3			
<b>特別損失</b>	5,040	9,680	5,920	6,387	9,117
動産不動産処分損	5,023	9,552	5,288	5,178	5,477
国債価格変動引当金繰入額		12		487	2,395
商品有価証券売買損失等引当金繰入額		101	621	718	1,239
金融先物取引責任準備金繰入額	16	14	10	2	1
証券取引責任準備金繰入額				0	2
税引前当期純利益(は税引前当期純損失)	514,796	54,783	429,480	35,097	48,263
法人税及び住民税	3,905	787	271	764	21,525
当期純利益(は当期純損失)	518,701	53,995	429,752	34,332	26,737
前期繰越利益	31,308	16,262	33,623	29,030	32,208
中間配当額		12,314	9,416	12,312	12,306
中間配当に伴う利益準備金積立額		2,462	1,883	2,462	2,461
当期末処分利益(は当期末処理損失)	487,393	55,480	407,427	48,588	44,178

### (3) 利益金処分計算書

(単位：百万円)

	平成9年度	平成8年度	平成7年度	平成6年度	平成5年度
当期末処分利益(は当期末処理損失)	487,393	55,480	407,427	48,588	44,178
任意積立金取崩額	549,003	7	435,007	28	28
海外投資等損失準備金取崩額	3	7	7	28	28
別途積立金取崩額	549,000		435,000		
計	61,610	55,487	27,579	48,617	44,206
<b>利益金処分額</b>	30,267	24,179	11,316	14,993	15,175
利益準備金	5,100	2,600	1,900	2,500	2,600
第一回優先株式配当金	(1株につき7円50銭) 525	(1株につき3円75銭) 262			
普通株式配当金	(1株につき8円50銭) 24,629	(1株につき4円25銭) 12,314	(1株につき3円25銭) 9,416	(1株につき4円25銭) 12,313	(1株につき4円25銭) 12,311
役員賞与金				180	260
取締役賞与金				163	238
監査役賞与金				16	21
任意積立金	12	9,001			4
海外投資等損失準備金	12	1			4
別途積立金		9,000			
<b>次期繰越利益金</b>	31,342	31,308	16,262	33,623	29,030

(注) 平成9年度特定取引にかかわる評価利益額 21,557百万円

# 重要な会計方針

## 1. 特定取引資産・負債の評価基準 および収益・費用の計上基準

金利、通貨の価格、有価証券市場における相場その他の指標にかかわる短期的な変動、市場間の格差などを利用して利益を得るなどの目的(以下「特定取引目的」)の取引については、取引の約定時点を基準とし、貸借対照表上「特定取引資産」および「特定取引負債」に計上するとともに、当該取引からの損益を損益計算書上「特定取引収益」および「特定取引費用」に計上しています。

特定取引資産および特定取引負債の評価は、有価証券および金銭債権などについては決算日の時価により、スワップ・先物・オプション取引などの派生商品については決算日において決済したものとみなした額により行っています。

また、特定取引収益および特定取引費用の損益計上は、期中の受払利息などに、有価証券、金銭債権などについては前期末と当期末における評価損益の増減額を、派生商品については前期末と当期末におけるみなし決済からの損益相当額の増減額を加えています。

ただし、特定取引勘定の設置は当期からのため、前期末の評価損益およびみなし決済からの損益相当額は、当期一括計上しています。

当期より、銀行法第17条の2の規定に基づく特定取引勘定を設置したため、特定取引資産および同負債にかかわる有価証券ならびに金銭債権などの時価への評価替えおよび派生商品のみなし決済から、資産が1,842,739百万円、負債1,814,168百万円が増加するとともに、損益への影響額は次のとおりであります。

経常収益	40,185百万円の増加
資金運用収益	25,400百万円の増加
特定取引収益	14,785百万円の増加
経常費用	18,634百万円の増加
資金調達費用	38,894百万円の増加
特定取引費用	20,260百万円の減少
経常損失	21,551百万円の減少

## 2. 有価証券の評価基準および評価方法

- (1) 有価証券の評価は、移動平均法による原価法により行っています。
- (2) 有価証券運用を主目的とする単独運用の金銭の信託において信託財産として運用されている有価証券の評価は、上記(1)と同じ方法により行っています。
- (3) 有価証券ならびに有価証券運用を主目的とする単独運用の金銭の信託において信託財産として運用されている有価証券のうち、取引所の相場のある社債・株式およびその他の証券については、従来、低価法により評価していましたが、銀行業の決算経理基準の改正に伴い、短期的な売買を目的としない有価証券については、期末の一時点の相場変動の影響を受けない原価法によることが、期間損益をより適正に反映する観点から、会計上合理的であると判断し、当期より原価法により評価することとしました。  
この変更により、従来の方法によった場合に比べ、経常損失および税引前当期純損失はそれぞれ433,195百万円減少しています。  
なお、同基準の改正が中間会計期間後に行われたため、中間会計期間においては低価法を採用していましたが、中間会計期間においても原価法を採用した場合には、中間会計期間の経常利益および税引前中間純利益はそれぞれ256,829百万円増加します。

## 3. 不動産の減価償却の方法

銀行業の決算経理基準に基づきそれぞれ次のとおり償却しています。

建物	定率法を採用し、税法基準の償却率による。
不動産	定率法を採用し、税法基準の償却率による。
その他	税法の定める方法による。

なお、建物については、銀行業の決算経理基準に基づき、従来、税法基準の160%の償却率により償却していましたが、同基準の改正に伴い、当期より税法

基準の償却率により償却しています。この変更により、従来償却率によった場合に比べ、経常損失および税引前当期純損失はそれぞれ6,940百万円減少しています。

なお、同基準の改正が中間会計期間後に行われたため、中間会計期間においては従来償却率によりましたが、中間会計期間においても税法基準の償却率により償却した場合には、中間会計期間の経常利益および税引前中間純利益はそれぞれ3,029百万円増加します。

## 4. 外貨建の資産 および負債の本邦通貨への換算基準

外貨建の資産、負債については、決算日の為替相場による円換算額を付しています。ただし、外国為替公認銀行の外国為替持高の規制対象外のものについては取得時の為替相場によっています。

海外支店勘定については、決算日の為替相場による円換算額を付しています。

## 5. 引当金の計上基準

- (1) 貸倒引当金  
銀行業の決算経理基準に基づき、予め定めている償却・引当基準により、次のとおり計上しています。破産、和議など、法的に経営破綻の事実が発生している先にかかわる債権およびそれと同等の状況にある先の債権については、債権額から、担保の処分可能見込額および保証による回収可能見込額を控除し、その残額を計上しています。また、現在は経営破綻の状況にないが、今後経営破綻に陥る可能性が大きいと認められる債権については、債権額から、担保の処分可能見込額および保証による回収可能見込額を控除し、その残額のうち、債務者の支払能力を総合的に判断し必要と認める額を計上しています。上記以外の債権については、過去の一定期間における貸倒実績から算出した貸倒実績率に基づき計上しています。なお、特定海外債権については、対象国の政治経済情勢などに起因して生ずる損失見込額を特定海外債権引当勘定(租税特別措置法第55条の2の海外投資等損失準備金を含む)として計上しています。  
すべての債権は、資産の自己査定基準に基づき、営業関連部署が資産査定を実施し、当該部署から独立した資産監査部署が査定結果を監査しており、その査定結果に基づいて上記の引当を行っています。  
また、銀行業の決算経理基準の改正に伴い、当期から上記計上方法により貸倒引当金を計上しています。
- (2) 退職給与引当金  
銀行業の決算経理基準に基づき、自己都合退職による期末要支給額に相当する額を引き当てています。
- (3) 債権売却損失引当金  
(株)共同債権買取機構に売却した不動産担保付債権の担保価値を勘案し、将来発生する可能性のある損失を見積り、必要と認められる金額を計上しています。  
なお、この引当金は商法第287条の2に規定する引当金であります。
- (4) 特定債務者支援引当金  
再建支援を行っている特定の債務者に対し、将来発生する支援額を合理的に見積り、必要と認められる金額を計上しています。  
なお、この引当金は商法第287条の2に規定する引当金であります。
- (5) 国債価格変動引当金  
銀行業の決算経理基準が改正され、国債価格変動引当金が廃止されたことに伴い、取り崩しています。
- (6) 商品有価証券売買損失等引当金  
銀行業の決算経理基準が改正され、商品有価証券売買損失等引当金が廃止されたことに伴い、取り崩しています。
- (7) 金融先物取引責任準備金  
金融先物取引などに関して生じた事故による損失の補てんに充てるため、金融先物取引法第82条および同法施行規則第31条の規定に定めるところにより算出した額を計上しています。



## (8)証券取引責任基準金

証券先物取引などに関する生じた事故による損失の補てんに充てるため、証券取引法第65条の2第5項において準用する同法第59条および銀行等の証券業務に関する省令第8条の8に定めるところにより算出した額を計上しています。

## 6.リース取引の処理方法

リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に準じた会計処理によっています。

## 7.調整年金制度の採用

第88期(昭和42年10月)より、従来の退職金制度の一部について、調整年金制度を採用しています。平成9年3月31日現在の過去勤務費用の現在額は21,785百万円、過去勤務費用の残存掛金期間は8年です。

なお、移行に伴う退職給与引当金超過額は銀行業の決算経理基準に基づき、税法の累積限度超過額の取り崩し割合により取り崩しています。

## 8.消費税などの会計処理

消費税および地方消費税の会計処理は、税抜方式によっています。

# 注記事項(平成9年度)

## 1.貸借対照表関係

- (1) 子会社の株式および出資総額417,413百万円
- (2) 自己株式のうち、商法第210条ノ2第2項第3号に定める自己株式はありません。
- (3) 貸出金のうち、銀行業の決算経理基準に基づき、未収利息を収益不計上としている破綻先債権額は257,512百万円、延滞債権額は733,762百万円です。
- (4) 貸出金のうち、金利減免等債権額は186,390百万円です。  
なお、金利減免等債権とは、債務者の再建・支援を図るため、約定条件改定時において公定歩合以下の水準にまで金利を引き下げた貸出金および利鞘が確保されていないスプレッド貸出金、ならびに金利棚上げの措置を講じ未収利息を収益不計上としている貸出金であります。
- (5) 貸出金のうち、経営支援先に対する債権額は40,770百万円です。  
なお、経営支援先に対する債権とは、債務者の再建・支援のため、損金経理について税務当局の認定を受けて債権放棄などを行い、経営支援している先に対する貸出金であります。
- (6) 土地の再評価に関する法律(平成10年3月31日公布法律第34号)に基づき、事業用の土地の再評価を行い、再評価差額金を負債の部に計上しています。  
再評価を行った年月日 平成10年3月31日  
当該事業用土地の再評価前の帳簿金額 81,094百万円  
当該事業用土地の再評価後の帳簿金額 407,623百万円  
同法律第3条第3項に定める再評価の方法  
土地の再評価に関する法律施行令(平成10年3月31日公布政令第119号)第2条第4号に定める路線価に基づいて、奥行価格補正などの合理的な調整を行って算出したほか、第5号に定める鑑定評価に基づいて算出。
- (7) 動産不動産の減価償却累計額323,707百万円
- (8) 動産不動産の圧縮記帳額32,841百万円
- (9) 借入金には、他の債務より先債務の履行が後順位である旨の特約が付された劣後特約借入金1,842,225百万円が含まれています。
- (10) 社債は全額、劣後特約付社債です。
- (11) その他の剰余金のうち、銀行法第17条の2第4項により利益の配当に充当することを制限されている金額は、21,557百万円です。
- (12) 当期から、特定取引勘定設置にかかわる銀行法施行規則の改正により貸借対照表の様式が改訂されましたが、その内容は次のとおりです。

従来の「商品有価証券」および「その他負債」中の「売付商品債券」は、「特定取引資産および同負債」の内訳科目になりました。また、決算日にて募集期間が終了していない国債等の引受契約からの引受残額についても「商品有価証券」に計上することになりました。

商品有価証券取引にかかわる派生商品は、「特定取引資産および同負債」に表示することになりました。したがって、従来の「その他の資産」、「その他の負債」で表示していた商品有価証券取引にかかわるオプション取引からのプレミアムは、「特定取引資産および同負債」中の「商品有価証券

派生商品」に表示しております。

従来の「有価証券」および「その他負債」中の「売付債券」のうち、銀行法第17条の2第1項第2号目的の有価証券取引にかかわるものは、「特定取引資産」中の「特定取引有価証券」および「特定取引負債」中の「特定取引売付債券」に表示することになりました。

銀行法第17条の2第1項第2号目的の有価証券取引にかかわる派生商品は、「特定取引資産および同負債」中の「特定取引有価証券派生商品」に表示することになりました。したがって、従来の「その他資産」、「その他負債」で表示していた同号目的のオプション取引からのプレミアムは、「特定取引資産および同負債」中の「特定取引有価証券派生商品」に表示しています。

特定取引目的の派生商品(有価証券関連を除く)は、「特定取引資産および同負債」中の「金融派生商品」に表示することになりました。したがって、従来の「その他資産」、「その他負債」で表示していた特定取引目的の金利オプション取引からのプレミアムは、「特定取引資産および同負債」中の「金融派生商品」に表示しています。

従来の「現金預け金」、「買入金銭債権」のうち、特定取引目的の財産については、「特定取引資産」中の「その他の特定取引資産」に表示することになりました。

従来の「その他負債」中の「借入有価証券」のうち、銀行法第17条の2第1項第2号目的の有価証券取引にかかわる貸借取引によるものは、「その他負債」中の「借入特定取引有価証券」に表示することになりました。

- (13) 従来「その他の負債」に含めておりました債券貸付取引にかかわる受入担保金につきましては、当期より「債券貸付取引担保金」として独立表示することになりました。

なお、前期末における債券貸付取引担保金の金額は、184,935百万円です。

## 2.損益計算書関係

- (1) その他の経営費用には、(株)共同債権買取機構へ不動産担保付債権を売却したことによる損失202,768百万円および日本抵当証券(株)などの取引先支援のための損失226,637百万円を含んでいます。
- (2) 当期から、特定取引勘定設置にかかわる銀行法施行規則の改正により損益計算書の様式が改訂されましたが、その内容は次のとおりです。  
「特定取引収益および同費用」中の「商品有価証券収益および同費用」に、従来の「その他業務収益および同費用」中の商品有価証券売買損益と評価損益が加えられるとともに、「資金運用収益(うち有価証券利息配当金)」および「資金調達費用」のうち商品有価証券取引にかかわる受払利息など、「営業経費」のうち商品有価証券取引にかかわる有価証券取引税および取引所税ならびに「役員取引など収益」のうち商品有価証券取引にかかわる引受料を含めることになりました。

「特定取引収益および同費用」中の「特定取引有価証券収益および同費用」に、従来の「その他業務収益および同費用」中の国債など債券売却益、国債など債券償還益、国債など債券売却損、国債など債券償還損および国債など債券償却のうち銀行法第17条の2第1項第2号目的の有価証券取

引にかかわる損益と評価損益が加えられるとともに、「資金運用収益(うち有価証券利息配当金)」および「資金調達費用」のうち同目的の有価証券取引にかかわる受払利息など、「営業経費」のうち同目的の取引にかかわる有価証券取引税および取引所税を含めることとなりました。

「特定取引収益および同費用」中の「金融派生商品収益および同費用」に、従来の「資金運用収益および資金調達費用」中の金利スワップ受入利息、金利スワップ支払利息、その他の受入利息、その他の支払利息のうち特定取引目的の金融派生商品取引にかかわる受払利息などと評価損益が加えられるとともに、「営業経費」のうち特定取引目的の金融派生商品取引にかかわる取引所税を含めることとなりました。

「特定取引収益および同費用」中の「その他の特定取引収益および同費用」に、従来の「資金運用収益および資金調達費用」に計上されていた特定取引目的の譲渡性預け金および買入金銭債権などにかかわる利息と評価損益が加えられることとなりました。

### 3. リース取引関係

(1) リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引

リース物件の取得価額相当額、減価償却累計額相当額および期末残高相当額

取得価額相当額

動産	その他	合計
3,760百万円	7百万円	3,768百万円

減価償却累計額相当額

動産	その他	合計
2,240百万円	3百万円	2,243百万円

期末残高相当額

動産	その他	合計
1,520百万円	4百万円	1,524百万円

(注) 取得価額相当額は、未経過リース料期末残高が有形固定資産の期末残高などに占める割合が低い場合、支払利子込み法によります。

未経過リース料期末残高相当額

1年内	1年超	合計
574百万円	949百万円	1,524百万円

(注) 未経過リース料期末残高相当額は、未経過リース料期末残高が有形固定資産の期末残高などに占めるその割合が低い場合、支払利子込み法によります。

当期の支払リース料 697百万円

減価償却費相当額 697百万円

減価償却費相当額の算定方法

リース期間を耐用年数とし、残存価額を0とする定額法によります。

(2) オペレーティング・リース取引

未経過リース料

1年内	1年超	リース取引
3,810百万円	27,966百万円	31,777百万円

## 損益

### (4) 部門別粗利益の内訳

(単位：億円)

	平成9年度			平成8年度			平成7年度		
	国内業務部門	国際業務部門	合計	国内業務部門	国際業務部門	合計	国内業務部門	国際業務部門	合計
資金運用収益	6,588	13,570	20,086	7,040	14,257	21,219	8,569	16,279	24,781
資金調達費用	3,085	12,031	15,043	3,169	12,117	15,208	4,081	14,141	18,154
資金運用収支	3,502	1,539	5,042	3,870	2,140	6,011	4,488	2,137	6,626
役務取引等収益	707	390	1,097	685	389	1,075	703	393	1,096
役務取引等費用	316	130	447	298	131	429	290	143	433
役務取引等収支	390	259	650	387	258	646	412	250	662
特定取引収益	44	145	190	-	-	-	-	-	-
特定取引費用	5	0	5	-	-	-	-	-	-
特定取引等収支	39	145	185	-	-	-	-	-	-
その他業務収益	690	578	1,269	678	247	925	1,745	110	1,855
その他業務費用	146	300	446	362	190	552	689	156	846
その他業務収支	544	278	823	316	56	372	1,055	46	1,009
業務粗利益	4,477	2,223	6,701	4,574	2,455	7,029	5,957	2,341	8,298
業務粗利益率(%)	1.52	1.31	1.48	1.55	1.46	1.56	2.01	1.44	1.83

(注) 国内業務部門は国内店の円建取引、国際業務部門は国内店の外貨建取引および海外店の取引です。ただし、円建対非居住者取引、特別国際金融取引勘定分などは、国際業務部門に含めています。  
資金調達費用は、金銭の信託運用見合費用(平成9年度12億円、平成8年度16億円、平成7年度25億円)を控除して表示しています。  
資金運用収益および資金調達費用の合計欄の上段の計数は、国内業務部門と国際業務部門の間の資金貸借の利息です。

$$\text{業務粗利益率} = \frac{\text{業務粗利益}}{\text{資金運用勘定平均残高}} \times 100$$

## (5)資金運用・調達勘定平均残高、利息、利回り

(単位:億円)

		平成9年度			平成8年度			平成7年度		
		国内業務部門	国際業務部門	合 計	国内業務部門	国際業務部門	合 計	国内業務部門	国際業務部門	合 計
資金運用勘定	平均残高	(10,690) 293,372	169,133	451,815	(10,738) 293,449	167,704	450,415	(5,545) 295,726	161,509	451,690
	利 息	(72) 6,588	13,570	20,086	(79) 7,040	14,257	21,219	(67) 8,569	16,279	24,781
	利回り(%)	2.24	8.02	4.44	2.39	8.50	4.71	2.89	10.07	5.48
貸出金	平均残高	223,624	119,832	343,456	217,180	115,773	332,953	222,258	97,048	319,307
	利 息	4,912	5,043	9,955	5,124	4,649	9,774	6,398	4,412	10,810
	利回り(%)	2.19	4.20	2.89	2.35	4.01	2.93	2.87	4.54	3.38
商品有価証券	平均残高				3,248		3,248	3,127		3,127
	利 息				20		20	9		9
	利回り(%)				0.63		0.63	0.30		0.30
有価証券	平均残高	55,524	6,563	62,088	54,009	5,974	59,983	56,196	5,697	61,893
	利 息	942	586	1,529	1,010	223	1,234	1,280	195	1,475
	利回り(%)	1.69	8.94	2.46	1.87	3.74	2.05	2.27	3.42	2.38
コールローン	平均残高	2,479	2,413	4,892	4,080	2,841	6,921	3,104	3,264	6,368
	利 息	14	138	153	23	160	183	21	202	224
	利回り(%)	0.58	5.73	3.12	0.56	5.63	2.64	0.70	6.19	3.52
買入手形	平均残高	416		416	144		144	420		420
	利 息	3		3	0		0	3		3
	利回り(%)	0.73		0.73	0.67		0.67	0.92		0.92
預け金	平均残高	527	34,262	34,790	915	37,808	38,724	1,136	51,077	52,213
	利 息	2	1,489	1,491	5	1,531	1,537	17	2,664	2,682
	利回り(%)	0.45	4.34	4.28	0.61	4.05	3.97	1.57	5.21	5.13
資金調達勘定	平均残高	281,181	(10,690) 169,563	440,054	283,083	(10,738) 167,454	439,800	283,449	(5,545) 162,044	439,947
	利 息	3,085	(72) 12,031	15,043	3,169	(79) 12,117	15,208	4,081	(67) 14,141	18,154
	利回り(%)	1.09	7.09	3.41	1.11	7.23	3.45	1.43	8.72	4.12
預金	平均残高	209,009	135,699	344,708	208,293	137,765	346,059	206,454	138,495	344,949
	利 息	1,068	5,092	6,160	1,264	4,905	6,170	2,212	5,667	7,879
	利回り(%)	0.51	3.75	1.78	0.60	3.56	1.78	1.07	4.09	2.28
譲渡性預金	平均残高	23,932	8,931	32,863	23,229	8,497	31,727	17,606	8,253	25,859
	利 息	154	570	725	128	494	623	145	513	658
	利回り(%)	0.64	6.39	2.20	0.55	5.81	1.96	0.82	6.22	2.54
コールマネー	平均残高	30,019	2,387	32,407	31,907	2,751	34,659	37,175	3,503	40,679
	利 息	172	127	299	162	134	296	319	215	535
	利回り(%)	0.57	5.33	0.92	0.50	4.89	0.85	0.85	6.16	1.31
売渡手形	平均残高	2,010	1,924	3,935	4,237	2,178	6,415	5,403	2,413	7,817
	利 息	12	108	120	20	110	131	41	139	180
	利回り(%)	0.63	5.61	3.07	0.49	5.05	2.04	0.75	5.78	2.31
借入金	平均残高	16,727	8,125	24,853	15,900	4,749	20,649	17,080	3,262	20,343
	利 息	408	280	689	428	132	561	487	117	604
	利回り(%)	2.44	3.45	2.77	2.69	2.79	2.71	2.85	3.60	2.97

(注) 資金運用勘定は、無利息預け金の平均残高を控除しています。  
平成9年度 国内業務部門2,693億円 国際業務部門148億円 合計2,841億円  
平成8年度 国内業務部門2,581億円 国際業務部門127億円 合計2,708億円  
平成7年度 国内業務部門2,452億円 国際業務部門137億円 合計2,589億円  
資金調達勘定は、(a)金銭の信託運用見合額の平均残高、および(b)利息を控除しています。  
(a)平成9年度 国内業務部門1,108億円 国際業務部門 2億円 合計1,110億円  
平成8年度 国内業務部門1,379億円 国際業務部門 12億円 合計1,392億円  
平成7年度 国内業務部門1,488億円 国際業務部門 42億円 合計1,531億円  
(b)平成9年度 国内業務部門 12億円 国際業務部門 0億円 合計 12億円  
平成8年度 国内業務部門 15億円 国際業務部門 0億円 合計 16億円  
平成7年度 国内業務部門 21億円 国際業務部門 3億円 合計 25億円  
国際業務部門の国内店外貨建取引の平均残高は、月次カレント方式(前月末TT仲値を当該月のノンエクステンジ取引に適用する方式)により算出しています。  
( )内は、国内業務部門と国際業務部門の間の資金貸借の平均残高および利息(内書き)です。  
合計欄において国内業務部門と国際業務部門の間の資金貸借の平均残高および利息は、相殺して記載しています。



## (6)受取・支払利息の分析

(単位：億円)

		平成9年度			平成8年度			平成7年度		
		国内業務部門	国際業務部門	合 計	国内業務部門	国際業務部門	合 計	国内業務部門	国際業務部門	合 計
受取利息	残高による増減	1	114	62	55	526	60	65	872	582
	利率による増減	451	801	1,195	1,473	2,548	3,501	2,512	4,083	1,940
	純 増 減	452	686	1,133	1,528	2,021	3,562	2,447	4,956	2,522
貸出金	残高による増減	141	166	304	122	751	400	234	886	393
	利率による増減	354	227	123	1,150	514	1,436	1,712	234	1,689
	純 増 減	212	394	181	1,273	237	1,035	1,947	651	1,295
商品有価証券	残高による増減				0		0	3		3
	利率による増減				10		10	28		28
	純 増 減				11		11	31		31
有価証券	残高による増減	25	24	44	42	9	40	72	5	79
	利率による増減	94	339	250	227	18	201	292	11	282
	純 増 減	68	363	295	269	28	241	219	17	202
コールローン	残高による増減	9	24	53	5	25	14	19	1	97
	利率による増減	0	2	23	4	17	55	5	33	50
	純 増 減	8	21	30	1	42	41	14	32	46
買入手形	残高による増減	1		1	2		2	1		1
	利率による増減	0		0	0		0	2		2
	純 増 減	2		2	2		2	1		1
預け金	残高による増減	2	143	156	1	620	619	4	366	348
	利率による増減	1	101	110	10	511	525	2	320	309
	純 増 減	3	42	45	12	1,132	1,144	7	46	39
支払利息	残高による増減	20	149	8	4	391	5	32	795	462
	利率による増減	63	235	173	907	2,415	2,941	2,736	3,371	1,013
	純 増 減	84	85	164	911	2,023	2,946	2,704	4,166	1,476
預金	残高による増減	3	73	24	11	26	19	9	209	134
	利率による増減	199	260	14	959	735	1,728	1,562	78	1,400
	純 増 減	196	186	9	947	761	1,709	1,552	287	1,265
譲渡性預金	残高による増減	3	26	22	31	14	115	28	217	177
	利率による増減	21	50	79	47	33	150	199	35	96
	純 増 減	25	76	102	16	19	35	171	253	81
コールマネー	残高による増減	9	17	19	31	41	59	5	2	8
	利率による増減	20	10	22	125	39	178	500	25	476
	純 増 減	10	7	3	157	81	238	495	28	467
売渡手形	残高による増減	10	12	50	6	12	30	3	8	14
	利率による増減	2	10	40	13	16	18	73	18	56
	純 増 減	8	2	10	20	29	49	69	27	41
借入金	残高による増減	20	110	116	32	41	8	79	40	44
	利率による増減	40	36	11	26	26	52	126	25	147
	純 増 減	19	147	127	58	14	43	205	14	191

(注) 残高および利率の増減要因が重なる部分については、両者の増減割合に応じて按分しています。

## (7) 役務取引の状況

(単位：億円)

	平成9年度			平成8年度			平成7年度		
	国内業務部門	国際業務部門	合 計	国内業務部門	国際業務部門	合 計	国内業務部門	国際業務部門	合 計
<b>役務取引等収益</b>	707	390	1,097	685	389	1,075	703	393	1,096
預金・貸出業務	41	161	202	36	144	181	36	119	155
為替業務	376	113	490	358	106	465	343	99	442
証券関連業務	64	1	66	79	3	83	117	1	119
代理業務	97	15	113	103	13	117	101	8	109
保護預り・貸金庫業務	29	-	29	29	0	29	30	0	30
保証業務	6	74	81	6	73	79	5	72	77
<b>役務取引等費用</b>	316	130	447	298	131	429	290	143	433
為替業務	95	40	135	88	35	124	87	33	121

## (8) 特定取引の状況

(単位：億円)

	平成9年度			平成8年度			平成7年度		
	国内業務部門	国際業務部門	合 計	国内業務部門	国際業務部門	合 計	国内業務部門	国際業務部門	合 計
<b>特定取引収益</b>	4,482	14,578	19,060						
商品有価証券収益	99	-	99						
特定取引有価証券収益	-	-	-						
金融派生商品収益	1,638	14,577	16,216						
その他の特定取引収益	2,744	0	2,745						
<b>特定取引費用</b>	515	1	517						
商品有価証券費用	-	-	-						
特定取引有価証券費用	515	1	517						
金融派生商品費用	-	-	-						
その他の特定取引費用	-	-	-						

## (9) その他業務利益の内訳

(単位：億円)

	平成9年度			平成8年度			平成7年度		
	国内業務部門	国際業務部門	合 計	国内業務部門	国際業務部門	合 計	国内業務部門	国際業務部門	合 計
<b>合 計</b>	54,479	27,834	82,314	316	56	372	1,055	46	1,009
外国為替売買益		17,625	17,625		66	66		80	80
商品有価証券売買益				10		10	62		62
国債等債券売却損益	58,429	19,388	77,817	305	56	362	1,009	44	1,053
その他	3,949	9,178	13,128	0	66	66	15	10	25

## (10) 営業経費の内訳

(単位：億円)

	平成9年度	平成8年度	平成7年度
<b>合 計</b>	3,857	3,804	3,687
給料・手当	1,352	1,354	1,364
退職金	37	35	34
退職給与引当金繰入	44	43	45
福利厚生費	270	261	279
減価償却費	407	408	403
土地建物機械賃借料	358	348	288
営繕費	9	9	10
消耗品費	50	55	55
給水光熱費	51	47	47
旅費	27	27	24
通信費	74	76	74
広告宣伝費	57	55	66
租税公課	288	253	285
その他	826	827	706